



ŌMIYA NEWS



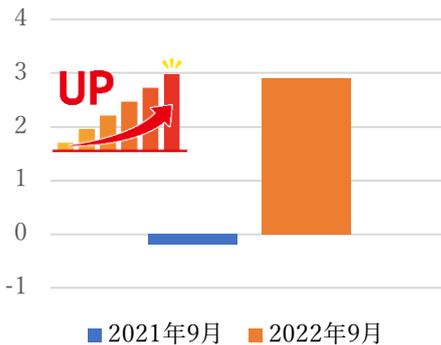
No.82 2022年11月2日 JR東労組大宮地本

**値上げラッシュに再値上げ！物価上昇で家計負担は年間12万円も増加！
私たちの暮らしを守り、安心して働き安全輸送を実現するために
年末手当満額獲得が絶対に必要だ!!**

原材料高騰や円安、ウクライナ侵攻の影響で物価上昇がさらに加速しています。9月の消費者物価指数は前年を3%も上回り、消費増税を除けば31年振りの水準に達しています！

特に、電気・ガス代が約20%、食料油が約40%も値上がりし、その他の生活必需品や電化製品等も大きく値上がりしています。(NHK NEWS WEB より)

消費者物価指数
(前年比増減率)



主な品目の値上げ率

電気代	21.5%
都市ガス	25.5%
食用油	37.6%
サケ	26.8%
食パン	14.6%
エアコン	14.4%
洗濯機	32.1%

調査によると、食品・飲料類の10月の値上げは6699品目、11月の値上げは833品目にも上り、さらに2000品目以上が今後値上げ予定！

年間では19765品目が既に値上げ済みで、累計20743品目が値上げされ、平均値上率は14%にも及びます！(帝国データバンクの調査)

～値上げされる食品の例(分野別)～



	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	製粉・油・乳製品
品目数	8536	4808	3977	1342	1033
値上率	16%	15%	15%	13%	12%
原因	物流・包装資材・円安	物流・包装資材	容器価格上昇・円安	原材料・包装資材	飼料・生乳価格
品目	水産品・食肉・離乳食	ドレッシング・マヨネーズ・だし	焼酎・ビール・発泡酒・炭酸飲料	キャンデー・スナック・米菓	乳飲料・粉ミルク

食品だけで20743品目が値上げされ、平均値上げ率は14%にも上る！



一方、実質賃金は昨年比1.7%減少し、5か月連続のマイナス！

専門家の試算では、政府の支援策等を加味しても家計負担は年間121,000円の負担増(基準内賃金の0.36か月分に相当)となり、家計がさらに厳しくなる事は確実です！(第一生命経済研究所の試算)



実質賃金は昨年比1.7%も減少し、5か月連続のマイナスに…



円安を受け物価上昇はさらに加速！家計は年間約12万円の負担増に!! 基準内賃金の0.36か月分にも相当！



**私たちには今こそ、生活実感と労働実感に即した賃上げが必要だ!!
職場で議論を積み上げ、年末手当満額回答を勝ち取ろう！**